

FOR ADULT



そしてゆるやかな

南国鎮守府の  
なんごくちんじゅふ

日常  
にちじょう

FOR ADLUT

そしてゆるやかな

南国鎮守府の  
なんごくちんじゅふ

日常  
にちじょう

## まえがき

去年の年末辺りから地球を守るために宇宙人相手に戦っておりまして、年が明けてからは怪物相手に狩りにいそしんでおりました。いやまあ、もちろん色々優先すべき事の台間について話なんですけど、いちいちこう書かないと24時間遊び惚けていると思う人がいて困ります。そんな訳があるから；

しかしその時々で楽しんでる物に創作意欲が左右されるのは歴然とした事実。今回の本を「地球防衛軍」が「モンハンワールド」のネタでやるうかと割と悩みました。

なぜに結局その辺のネタをあきらめて艦これで行く事にしたかという、モンハンも防衛軍も作画に異様に手間がかかる上に、おっばいやら尻やらの出番が無さげだったからです。

まあモンハンの相棒が絶妙に色気と縁遠いキャラデザだったり、防衛軍はカエルやらベブシマンやら、これまたダイバーの姉ちゃんたちの尻を瞬時に忘れる悪夢のような敵がてんこ盛り。緑の蟻とかガチで夢に見たわ！いや楽しかったから良いんですが。

今回は心を癒すべくおっばいっばい描こうと思って艦これです。ここ2回分の鬱憤を晴らしてやるうと思います。

鎮守府の艦編成やら呉の提督の軽さやらが疑問な方は、ぜひシリーズのバックナンバーをお読みください。お楽しみいただければ幸いです。

南国鎮守府  
司令部

あはははは！

いやー  
長生きは  
するもんだね！

キミがうるたえる  
姿を観れる日が  
来ようとは！

笑い事じゃ  
ないですよ！

本当に怖かったん  
ですから！！

いや  
すまない！

だが僕の言った  
通りだったろう？

むす



提督が重傷!?

あゝ……

これだ  
めっめっ  
Garden

たぶん彼には  
バケツが効くと  
思うよ!

まさか……

あんな助言が  
効果あるなんて



てつきり  
からかわれて  
いるのかと

いやだなあ!  
僕はいつでも  
まじめだってば



ともかく!

改めてお礼は  
申し上げます!



えっ



そしてゆるやかな  
**南国鎮守府の日常**





いや!!

提督ウソつき  
だもん!!

ケガしないって  
約束したのにつ!!



つ…つまり  
死ぬほど  
疲れている  
のだ!

そこを  
理解して…



そりや多少の  
負傷はしたが

こうして  
無事に……

死んじゃったと  
思ったって  
鳳翔さんが  
言ってたもん!!



おちんちん  
こんなに元気!

説得力  
無い!

あたり  
まえだっ!!

お前の胸に  
何時間埋もれて  
いたと思ってる!?

アッ...

.....わかった!



なら違う所に  
埋めちゃうん  
だから!

ちょ...  
まっ...

ちゅっ





.....

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

根本まで  
一気に……

しかも  
触られても  
いないのに

ドロドロ  
ではないか!!

お前やっぱり……

お前やっぱり……

ド変態  
なのだな!!

う……う  
うるひさいれふ♡

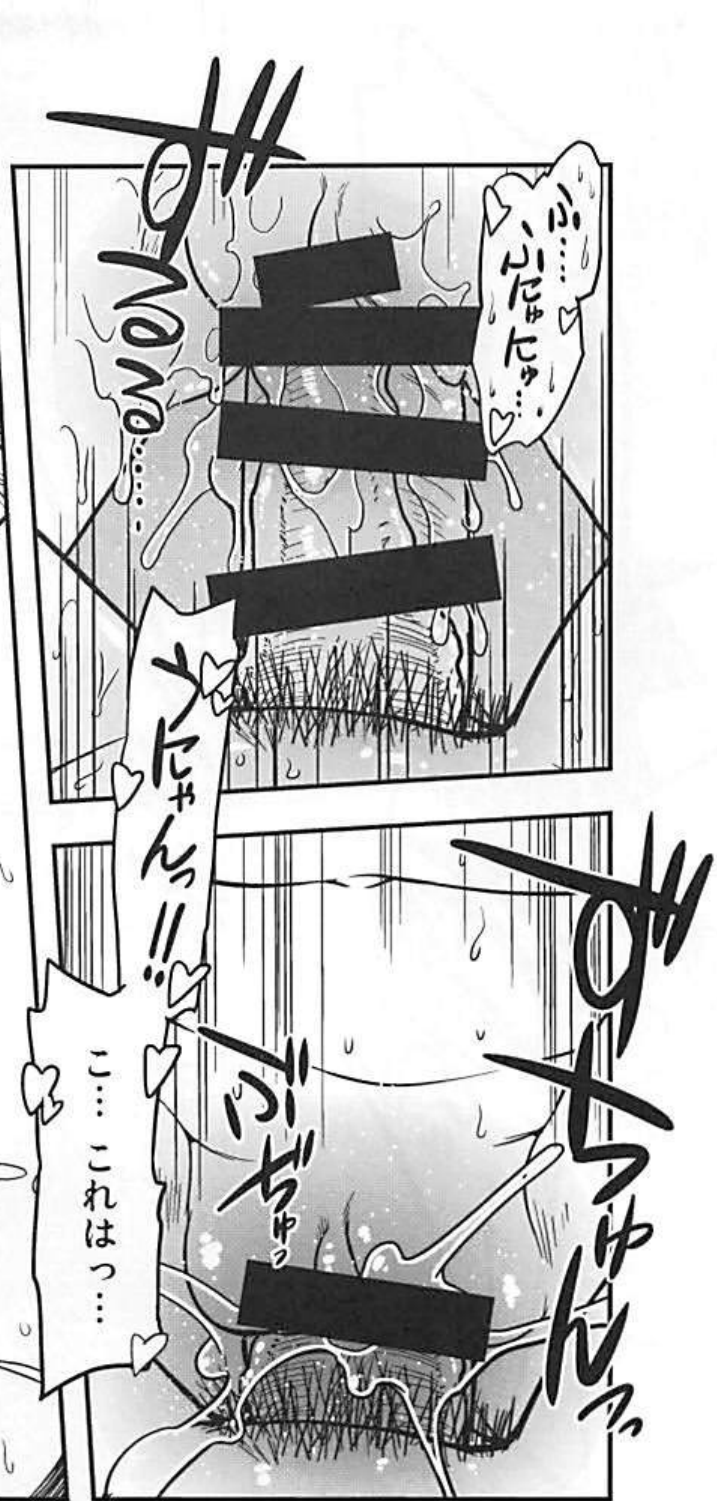
まほ

お前やっぱり……

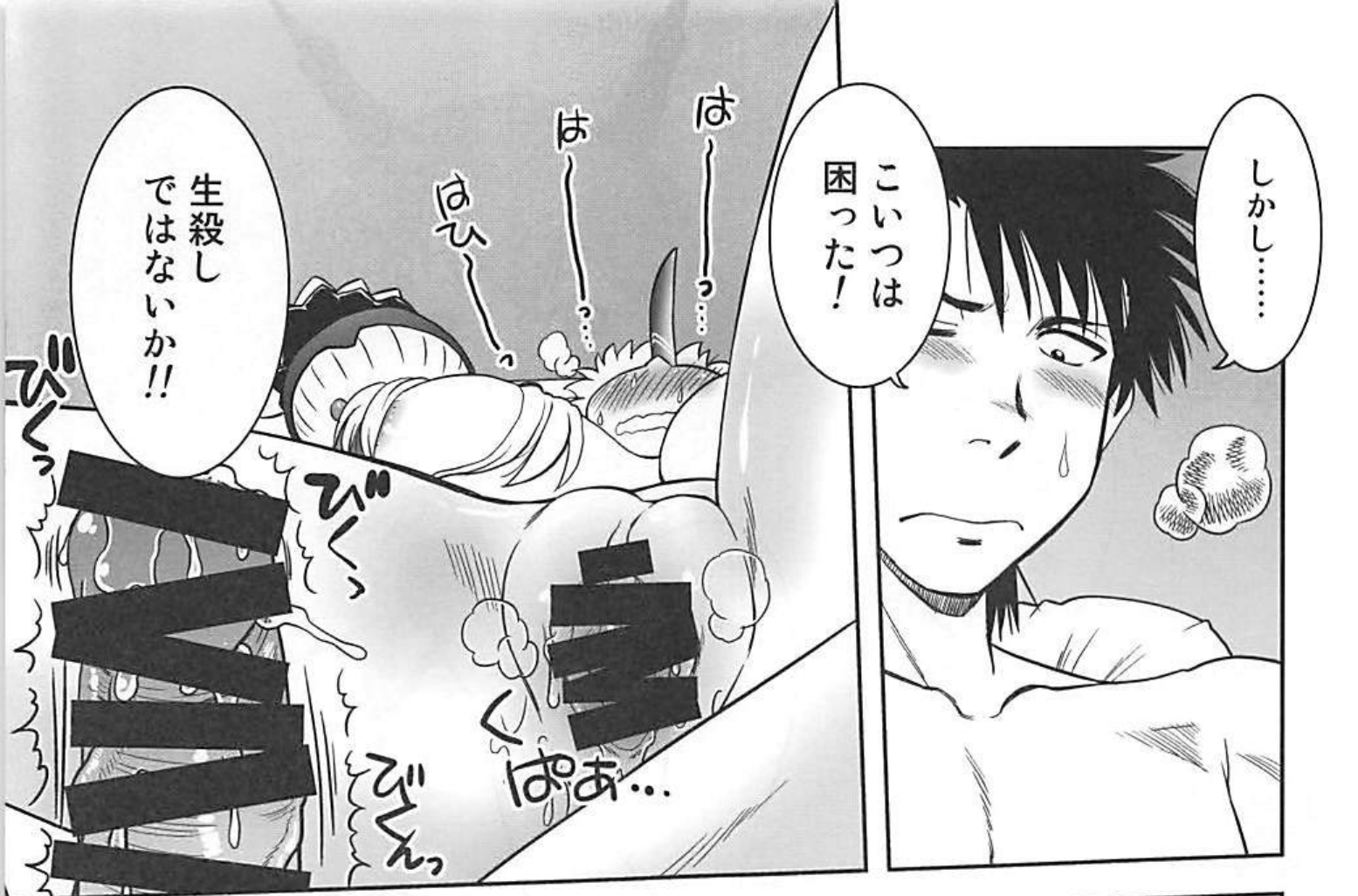
お前やっぱり……


まほ











それなら  
間違いなく  
私の出番よね？

うむ！  
さすが  
艦隊旗艦！

To Be Continued.

## あとがき

2000年ほど前の偉い人のお言葉です。  
曰く、「人が死ぬ日は生まれた日に優る」とか。  
何言ってんだコイツと思ったものです。  
生きてる方が良いに決まってるじゃないか。  
何を達観し切ったことを言っているのだ。

4月の半ば、桜も散り切り連日の夏日が報じられていたある日、  
僕の親父が逝きました。

自分が身内を送る立場になって、  
上記の言葉を改めて考える機会を得ました。  
なるほど、あの言葉は残された人たちのためにあつたのが。

ようやくそこに考えが至りました。  
親父を送るのに集まってくれた人たち、  
その8割の人達を、僕は知らなかつた。  
もちろん大半の人達も僕を初めて目撃した。  
人の生活に、人生に触れるという事は、  
その人の人生の一部になるという事だ。  
僕は親父という人間の、人生の一部だ。  
葬送の場集ってくれた人たちも、僕の知らない親父の人生の一部だつた。  
皆、お互いに知らなかつた親父の人生の一部に触れることが出来た。

知ることが出来た。  
残される人間にとって、これはとても重要なことだ。

晩年、親父には新しくできた友人がいた。  
認識がつつろになっていた親父が、名前を聞いただけで  
涙ぐむほど、心通わせた親友がいた。  
僕はそれを親父の死の直前まで知らなかつた。  
その人に会って、話し合うことで、僕は知らなかつた  
親父の人生の一面を知ることが出来た。  
親父の友人に、彼の知らなかつた親父の人生の一面、  
僕という存在を知ってもらつ事が出来た。  
それはとても大事なことだ。重要なことだ。  
素晴らしいことだ。

その機会を、親父を送ったあの日、得ることができた。

ならば、親父を送ったあの日は、良い日だつたのだ。

良い事言うじゃないか、2000年前の人よw  
あの日は、良い日だつたよ。





奥付

2018・04.30 初版発行  
企画・制作 謎の会  
mail:nazotu@gmail.com

印刷 (有)二毛印刷工房様

2018.04 謎のPRESETS

